

中学歴史 江戸幕府末 (解答)

レベル 1 (要点チェック)

1, 日本の開国

1853 年アメリカ使節(1 **ペリー**)が浦賀(神奈川県)に来航し、日本に開国を要求した。翌年、幕府は(2 **日米和親条約**)を結び、鎖国体制が崩れ、日本は開国した。

さらに 1858 年、(3 **日米修好通商条約**)を結び、アメリカなどと貿易が始まった。この条約は日本にとって不平等な内容だった。日本は(4 **領事裁判権**)を認め、外国人を日本の法律で裁けなかった。また、日本には(5 **関税自主権**)がなく、輸出入品に自由に関税をかけることができなかった。

この 3 の条約は、大老の(6 **井伊直弼**)が朝廷の許可を得ないまま結んだため、反対派が 6 を暗殺する(7 **桜田門外の変**)が起きた。

開国後、幕府は金の流出を防ぐため、質を落とした小判を発行したので、(8 **物価**)が急上昇し、米などの生活必需品も値上がりして、人々の生活は(9 **苦しく**)なった。



2, 倒幕の動き

開国の混乱により、天皇を敬い外国人を追い払おうとする(10 **尊王攘夷**)運動が激しくなった。特に、(11 **薩摩藩**) (鹿児島県)と(12 **長州藩**) (山口県)は外国船と直接砲撃して、外国人を追い払うことが不可能と知り、土佐藩出身の(13 **坂本龍馬**)が仲介をして、1866 年(14 **薩長同盟**)が成立した。

この動きは、幕府を倒す方へ向かい、これに対抗して、1867 年 15 代将軍(15 **徳川慶喜**)は政権を朝廷に返す(16 **大政奉還**)を行い、江戸幕府は滅亡した。

1868 年(17 **王政復古の発令**)で天皇を中心とする政府の樹立を宣言し、新政府は 15 の政治への参加を認めず、官職と領地の返すよう命じた。これに不満をもった旧幕府軍と新政府軍の間で、1868 年(18 **戊辰戦争**)が起これ、69 年に新政府軍が勝利した。

井伊直弼、坂本龍馬、徳川慶喜、薩長同盟、戊辰戦争、長州藩、桜田門外の変、関税自主権、
領事裁判権 (治外法権)、薩摩藩、大政奉還、ペリー、日米修好通商条約、日米和親条約、
尊王攘夷、王政復古の発令、

確認問題

- 問1 1853年浦賀に来航し、日本に開国を求めたアメリカの使節はだれか。
- 問2 1854年日本とアメリカとの間で結ばれた条約を何というか。
- 問3 1858年朝廷の許しを得ないまま日米修好通商条約を結んだ大老はだれか。
- 問4 2の条約で開かれた港を2つ答えなさい。
- 問5 日米修好通商条約は、日本にとって不平等だった理由は何か。下の文中に当てはまる語句を書きなさい。
日本に滞在するアメリカ人が罪を犯しても日本の法律で裁けない(①)権を認め、輸出入品の関税を決める(②)権が日本になかった点。
- 問6 開国後、天皇を敬い外国勢力を追い払おうとする動きを何というか。
- 問7 1866年、倒幕に向かって同盟を結んだ2つの藩はどこか。
- 問8 1867年政権を天皇に返した江戸幕府の最後の将軍はだれか。
- 問9 8の出来事を何というか。
- 問10 9に対して、天皇を中心とする政府の樹立を宣言することを何というか。
- 問11 旧幕府軍と新政府軍と間で始まった戦いを何というか。

- 1 ペリー
- 2 日米和親条約
- 3 井伊直弼 (いいなおすけ)
- 4 下田・函館
- 5① 領事裁判権 (治外法権)
② 関税自主権
- 6 尊王攘夷運動
- 7 薩摩藩、長州藩
- 8 徳川慶喜 (よしのぶ)
- 9 大政奉還
- 10 王政復古の発令
- 11 戊辰戦争 (ぼしん)

レベル2 (要点チェック)

1, ペリーの来航と開国

1853年ペリーが浦賀沖に来航。

→1854年(1 日米和親条約)を結び開国し、下田(静岡)と函館(北海道)を開く

1858年(2 日米修好通商条約)を大老(3 井伊直弼)が朝廷の許可を得ずに結ぶ

- ・(4 横浜), (5 神戸)、函館、新潟、長崎、5港を開港(4と5は順不同)
- ・(6 領事裁判権): 罪を犯した外国人を日本の法律で裁けない)を認める
- ・(7 関税自主権): 輸出入品に自由に関税をかける権利)がない

→(8 尊王攘夷)運動が高まる

安政の大獄で3が反対派の公家、大名、藩士らを処罰

1860年(9 桜田門外の変): 水戸藩の浪士が3を暗殺

神戸、横浜、尊王攘夷、桜田門外の変、日米修好通商条約、日米和親条約、関税自主権、領事裁判権、井伊直弼、

2. 攘夷から倒幕

開港後、幕府は金の流出を防ぐため、小判の質を下げ物価が上昇、

→人々の生活が苦しくなる

・(1 薩摩)藩はイギリスの軍艦と砲撃、(2 長州)藩は下関で四国艦隊と砲撃

→外国勢力の力を知り、倒幕へ動き出す

1866年土佐藩出身の(3 坂本龍馬)の仲介で、1の西郷隆盛と2の末戸孝允が手を結び、

(4 薩長同盟)が成立

民衆の間で、世直しを求める「ええじゃないか」という動きが流行る

1867年15代将軍(5 徳川慶喜)が政権を朝廷に返す(6 大政奉還)を行う。

1と2の倒幕を阻止して、その後の政府でも重要な役職に就こうとした。

1868年(7 王政復古の号令)：朝廷が天皇中心の政治に戻すと宣言。

公家の岩倉具視によって、5は領地と官職を返すように命じられる。

1868-69年(8 戊辰戦争)：旧幕府軍と新政府軍との戦い。新政府軍が函館で勝利して終結。

坂本龍馬、大政奉還、戊辰戦争、薩長同盟、長州、徳川慶喜、王政復古の号令、薩摩

レベル3 (基本問題)

年表問題

時代	世紀	できごと	中国
江戸時代	19	1825年異国船打払令を出す	清
		1837年大塩平八郎が乱を起こす	
		1840年アヘン戦争が始まる	
		1841年老中(1 水野忠邦)が天保の改革を始める	
		1842年(2 南京)条約が結ばれ、ホンコンの割譲など清にとって不平等な条約	
		1853年ペリーが浦賀沖(神奈川県)に来る	
		1854年(3 日米和親)条約を結び、下田・函館を開港	
		1858年(4 日米修好通商)条約を結ぶ	
		同年(5 安政)の大獄で、長州藩の吉田松陰らが処刑される	
		1860年(6 桜田門外の変)で、大老の井伊直弼が暗殺される	
		1866年(7 薩長)同盟が成立する	
		1867年徳川慶喜が政権を朝廷に返す(8 大政奉還)を行う	
		朝廷が(9 王政復古の号令)を出す	
1868年戊辰戦争が起こる			